

令和5年3月9日

足立区立六月中学校  
校長 宮下みどり殿

六月中学校 学校運営協議会  
開かれた学校づくり協議会  
会長 芦川一男

## 令和4年度 学校関係者評価書

はじめに

新型コロナウイルスは令和4年も続き足掛け満3年の流行となった。部活や諸行事に多大な影響を受けたが、それでも赴任1年目の宮下校長はじめ全スタッフが工夫をして学生生活を豊かなものにしていただいた。このことを最初に明記しておきたい。

### 1、重点取り組み事項 (1) 学力向上アクションプラン

#### (ア) 授業力の向上 学力向上

先生方は授業の振り返り、目標・課題を生徒に確実に提示を行い、生徒も80%が授業を理解できていると答えている。授業力の向上は評価できる。

学力の向上は正答率が60%の目標に対し57.4%であった。

#### (イ) ICT 機器の活用

タブレットが全生徒に配布されて2年目の年であり、タブレットが学習の向上のため有効に活用されたか注目された。アンケートの数字を見る限り先生方も生徒の方も十分に使いこなして学習の効果にまでは現れていないようだ。

まだ2年目でいろいろ試行錯誤が続くと思うが、令和5年は3年目を迎えるので特に教える先生方の熟達と生徒への指導をお願いしたい。

#### (ウ) 家庭学習の充実

放課後補習、サマースクール、学習コンテストなど実施してきた。

家庭学習は各学年を通して生徒は80%が、保護者は65%が習慣化できていると答えている。

「家庭学習ノート」が本校で導入されてから久しく効果を上げてきた。今年度から「生徒のやり取り帳」が取り入れられている。その効果を見守りたい。

## 2、重点取り組み事項 (2) 心の教育の充実

### (ア) 各生徒の自尊感情や自己肯定感

このデータは年2回実施のQU調査からの結果が示されている。本校においてこの数値は満足群が55%、不満足群19%であった。なお全国値は満足群41%、不満足群18%である。

また本校のアンケートでは生徒と保護者の学校生活の満足度は9割と大変高い数字が出ている。

### (イ) いじめ問題

生徒や保護者のアンケートから見て生徒会や人権教育、ポスター掲示などの日頃の活動がしっかりと定着出来ている。いじめがないという回答が95%と高くなっており、近年この数字が安定していることがそのことを物語っている。

### (ウ) 不登校生徒への対応

不応適・不登校生の数11%と増えている。この傾向はコロナ感染による自宅待機日が日常化したため、不登校生徒の増大に結びついたので原因で全国的な傾向だと推定されている。不登校生徒に対しての本校の取り組みは修学支援委員会で生徒一人一人に対応した支援をきめ細かく行っているなどスタッフの努力が評価されている。それらの成果としても教室復帰率などの数値を発表するなど今後期待している。

## 3、重点取り組み事項 (3) 地域に開かれた学校づくり

### (ア) 活発な活動

三校連携事業はコロナの中でも第15回目を開くことが出来た。学校公開講座や道徳地区公開講座、挨拶運動なども回数は少なくなったがコロナに負けず何とか実施できた。

### (イ) 広報活動

アンケート調査の中で地域に対する広報についての意見がかなり見られた。

学校として地域の人たちに関心をもってもらうためにもどのような情報を伝えることが大事なのであろうか。デジタル時代の昨今、学校と地域とのコミュニケーション・ツールとしてSNSなど様々なツールを利用した情報提供をもっと考えていただけることを期待している。

以上